

多良木町訪問団のみなさん 南幌町へようこそ！

9年目となる児童交流事業！2月2日から4日間の日程で安達校長（黒肥地小）を団長とした多良木町児童10名の訪問団が本町を訪れ、夏の訪問の恩返しに北海道の冬を満喫してもらいました！



1日目（2月2日）



【訪問の言葉】
飯田和華菜さん
（黒肥地小）



【歓迎の言葉】
松岡瑠果さん
（南幌小）

歓迎レセプションでは、両町の挨拶、多良木町の紹介等が行われ、その後各民泊家庭に向かいました。



半年ぶりに、多良木町訪問団をビューローでお出迎え。皆、再会をとっても楽しみに待っていました！到着後、歓喜の声の中、歓迎レセプション会場へ移動。



2日目 (2月3日)



夕食は、ぼろろでお母さん達が準備した「南幌ママズビュッフェ」：心のこもった美味しい料理をありがとうございました。



札幌時計台、テレビ塔やさつぽろ雪まつりを見学！両町児童は仲良く楽しそうに見学していました。

3日目 (2月4日)



南幌小学校6年生の教室で給食を食べた後、全校集会で多良木町訪問団と南幌小学校全児童がゲーム等で交流しました。



北広島クラッセスノーパークでのスキー体験！両町児童一緒に滑りました。雪と風が強く、予定より早く終了しました。



最後の夜は、保護者も交えた交流タイム！クイズやゲームなどで楽しく過ごしました。



その後は、スノーモービル体験の予定でしたが、強い風と雪のため、急遽ぼろろで、南幌町発祥の「バトカーリソグ」を楽しみました。

4日目 (2月5日)

あっという間に、最後の日。南幌小学校でお別れ会が行われました。

今年もまた、新たな絆が生まれました。

この交流は来年度で10回目。これからもたくさんの新たな絆が生まれることでしょう。

